



赤磐

平成27年3月議会 第40号

市議会だより



平成27年度当初予算	2P
3月議会のあらまし	3P
委員会のうごき	7P
12人の議員が一般質問	10P
各委員会構成	17P
議会報告会を開催しました	18P

市議会の会議録がインターネットでも閲覧できます。ご利用ください。

アドレス <http://www.kaigiroku.net/kensaku/akaiwa/akaiwa.html> (※赤磐市のホームページからもアクセスできます)

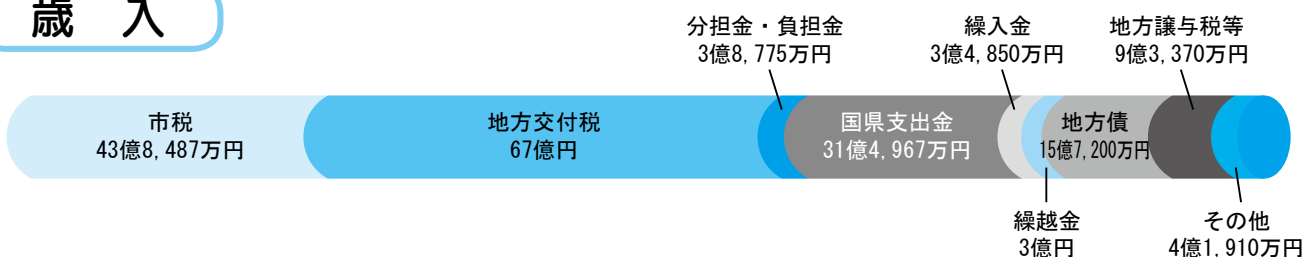
平成27年度は経常経費の削減と重点政策への優先予算

一般会計当初予算181億9,560万円（対前年：2億3,919万円増）

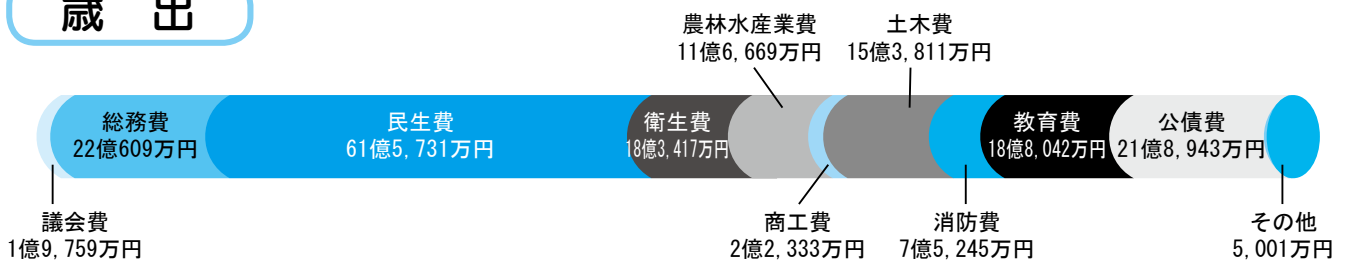
平成27年度予算は、総合計画や行財政大綱実施計画を踏まえたうえで、経常経費の削減に努める一方、重点事業へ優先して予算配分した予算編成となっている。

重点事業として「教育改革」「産業振興」「企業誘致」「市制施行10周年記念事業」の4項目を位置づけており、「教育改革」では特別支援学級へのエアコン設置、「産業振興」では鳥獣害対策および農業後継者の育成、「企業誘致」では新規立地の積極的展開、「市制施行10周年記念事業」では10周年という節目の年に市内外へ本市の良さのアピールを行う。

歳入



歳出



会計別予算規模

会計名	27年度	26年度	増減	増減率
一般会計	181億9,560万円	179億5,641万円	2億3,919万円	1.3%
特別会計	134億1,941万円	123億4,206万円	10億7,735万円	8.7%
国民健康保険	63億7,050万円	56億1,051万円	7億5,999万円	13.5%
後期高齢者医療	4億9,958万円	4億9,287万円	671万円	1.4%
介護保険	42億3,745万円	39億8,731万円	2億5,014万円	6.3%
訪問看護ステーション事業	4,850万円	3,524万円	1,326万円	37.6%
簡易水道	2億2,132万円	2億2,997万円	△865万円	△3.8%
下水道事業	20億683万円	19億873万円	9,810万円	5.1%
宅地等開発事業	1,150万円	3,350万円	△2,200万円	△65.7%
竜天オートキャンプ場	1,433万円	1,348万円	85万円	6.3%
土地取得	—	1,814万円	△1,814万円	廃止
財産区	942万円	1,232万円	△290万円	△23.5%
公営企業会計	12億5,729万円	11億4,745万円	1億984万円	9.6%
水道事業	12億5,729万円	11億4,745万円	1億984万円	9.6%
合計	328億7,230万円	314億4,592万円	14億2,638万円	4.5%

※表示単位未満四捨五入のため、積み上げと合計が一致しない場合があります。

3月定例会のあらまし

議案審議

3月定例会を2月27日から3月20日まで、22日間の会期で開催した。議案45件を可決、請願1件を採択とし、議員発議の議案1件、意見書1件を可決した。
また、人事案件6件を同意・適任とした。

過疎地域自立 促進市町村計 画の変更

問 消防力の強化で青年層の入団などを促し、団員の確保に努めるとあるが、過疎地域では団員確保は難しく、実情に合わせた変更が必要ではないか。

答 確かに団員確保が大変だが、現状は確保ができていない。実情に合わせた変更は今後の検討とする。

問 消防団員の給料や手当がだんだん減っている。処遇面も検討が必要ではないか。

答 処遇等について消防団役員会議で十分協議し、必要な整備は進める。

一般会計

26年度補正予算

問 がん検診の受診が見込みよりかなり下がっているが、受診率等の説明

答 を。
胃がん検診では個別検診の実施、子宮がん検診ではナイトー検診や日曜検診を行うなど受診率向上対策を行っている。

訪問看護ステーション事業特別会計

問 収入の6倍以上の2600万円を一般会計から繰り入れるという厳しい状況。その中で、看護師4人が診療所と兼務というのをおかしいのではないか。利用者の信頼を得るためには、利用者

しかし、昨年と比べて胃がん検診で25%減、子宮がん検診で21%減と受診率が落ちている。
問 がん検診の受診率向上は市にとっても重要な課題だ。受けられなかった人に対して再受診の通知を出してはどうか。
答 再受診の通知は現在行っていないが、今後検討したい。

27年度予算

一般会計

訪問看護師がなじみの関係になる必要がある。担当が変わることは望ましくなく、信頼を得なければならぬケアマネジャーからも担当がかわ

と困る、との指摘がある。
答 昨年末に看護師1人が退職したことから4人の兼務としたが、次年度からは専従にしたい。

問 24時間電話相談事業について28年度の債務負担行為を行っているが、この事業は本年10月から来年9月までの事業なので、当初予算でなく、今年の6月議会や9月議会の補正予算で債務負担行為を行うべきではないか。

答 すでに年間の予算や28年度の債務負担行為が

発生することがわかっている。当初予算で実施すべきと考えている。
問 社会福祉施設費の清掃や警備の委託料について一般業者に委託しているものがあるが、シルバー人材センターや社会福祉協議会、太陽の家などに委託できるものがあるのではないか。

答 無人警備については専門業者に委託する。それ以外では5年の長期契

約なので途中変更できない。
問 私立保育園に約10億円の委託料を支払っている。保育料の滞納は市が徴収することになっているが、保育園にも徴収に協力してもらえないのか。
答 保育料の滞納については公平性の見地から許してはいけない。そのためにも私立保育園の運営者と協議し、抜本的な対策について議論していきたい。

問 結婚推進協議会助成金について、実績および活動内容を教えてほしい。
答 この協議会では未婚の男女に出会いの場を提供するというところで、カップリングパーティーを年3回開催している。パーティーでカップルになった成立組数だが、25

年度は20組、26年度は16組である。24年度のパーティーでカップルになった2組が25年度に結婚し、市内に住んでいる。25年度にカップルになった1組が今年6月に結婚予定。

問 イノシシ等防護柵設置の補助金について説明してほしい。和気町がしているように国庫補助で実施してはどうか。

答 地域で行う電気柵等の防護柵設置に対して材料費を補助する。27年度から小規模の設置に対する補助率を4分の1から3分の1に見直す。山陽地域においても非常に被害が増えてきている現状があり、和気町の例も含めて慎重に検討したい。

問 観光振興事業補助金に関連して、昨年花火大会が安全の関係で中止になったが、その集めた協賛金を基金に積んだらどうか。

答 花火の協賛金を基金に積むかどうかは回答できないが、皆さんの気持ちを大切に有効に使用したい。

用したい。

問 10周年記念事業1043万6000円の中でPR事業と2つに分かれているが、内訳の説明を。

答 いろいろイベントを開催する費用として575万6000円、特別事業が468万円、PR事業が576万円である。

問 映画製作で、撮影現場の炊き出しの資材・傷害保険の加入など具体的に出ているが、これは本来映画会社が行う事業ではないのか。

答 ロケ弁や保険などは映画会社で用意される。炊き出しについては、地元の人と撮影スタッフ・タレントなどとの交流会が持てればと考えている。

問 浄化槽整備事業について、山陽、赤坂、熊山3つの地域をまとめて予算が計上されているが、赤坂分の整備実績と今後の浄化槽整備計画は、どのくらいの用途を立てているのか。

答 26年分の実績としては赤坂地内には14基を設置している。27年度分の計画として赤坂地域に7人槽20基を計画している。

問 地域おこし協力隊事業について、協力隊員の性別・年齢について説明を。

答 役割と任務の中で「是里地域における地域と一体になった振興対策を図る」とあるが、どういった目的なのか。

答 協力隊員は62歳の男性で、是里ワインの企画や販売等に力を発揮してもらい、是里地域の活動に参加して協力や助言をしてもらうように考えている。

問 自主防災組織活動支援事業補助金の内訳と昨年度の実績、市内の組織の数、防災士養成講座修了生は何人いるのか。その中で市へ登録しているのは何人か。

答 防災士養成補助金として30人分183万円と訓練等に使用する資材等の整備による補助金50万円である。組織の数は8組織で修了生は101人で、市への登録者についても同数である。

問 農業振興費の中で米価下落への対応は。

答 27年度予算の中には入っていない。国の26年度補正予算において27年度の主食米の生産を行う農家を対象に生産コストの削減を図る取り組みに付される。稲作農業の体質強化緊急対策事業というものがあり、これに取り組んでいる。

問 林業総務費で鳥獣対策実施隊報酬費26万円についての説明を。

答 隊員の報酬で、活動の内容としては、有害鳥獣の捕獲・追い払い、防護柵の設置指導などを予定している。

問 特別支援学級のエアコン設置費1512万円の説明と今後の計画は。

答 特別支援学級に在籍している児童生徒の中には特に気温の変化に対応できず精神的に不安定になることが多いため、エアコンを設置するものである。設置計画については27年度から28年度も小中学校の特別支援学級への設置を検討している。

問 24時間健康相談業務委託料と健康づくりシステム委託料についての事業説明を。

答 24時間365日健康相談事業については、提案型やプロポーザルで業者を募って実施したい。市に合った健康相談事業を模索していく。使いやすい電話番号や必要な回線数はできるだけ確保したい。医師や看護師、そのOBなどの専門家が対応する。

問 オールあかいわ宣伝隊の予算では東京、大阪への交通費だけで足りなくなってしまうのではないか。予算が膨らむ可能性はないか。

答 予算の範囲内でやりたい。

問 熊山診療所について、先の議会で附帯決議が提出され厳しい意見があった。今回の予算はそれを受けて改善されているのか。

答 診療所の人員の適正配置、後発医薬品の導入、職場検診の導入強化などによる収入の増加を図る予算編成としている。佐伯北診療所の耐震診断委託料を計上した。この結果により今後検討したい。

問 市内の医療ネットワーク体制はどうなるのか。

答 診療所、医師会病院、岡山市内の高度医療等と連携し、役割分担が必要である。そのためにも熊山診療所の常勤医師の確保が喫緊の課題である。

訪問看護ステーション事業特別会計

問 訪問看護ステーション予算の人員費等は約5000万円、これに対して収入は700万円。一般会計の繰入金金は4200万円となっている。訪問看護ステーションは赤字になるにもかかわらず、一般会計からの繰り

国民健康保険特別会計

入れが4200万円は大きすぎないか。

また、どういう営業展開をしていくのか。

答 当初予算としては厳しい見積もりをしていく。今後運営の中で営業活動によって収入増につなげていきたい。

営業展開については、今後需要が増えると思われる。高齢者の身体的機能回復と訪問看護を一体化したサービスを取り入れる。契約件数の増加に努める。予算の700万円を上回る増加につなげていきたい。

問 営業の際に必要なことは、区長、民生委員のところに出向いて話をすることが大切である。地域の事情がわかるし、地域の信頼も出てくる。ぜひ地域を歩いてもらいたい。

作業療法士が復帰するのであれば、チラシにもリハビリができるという内容で、再度作成してもらいたい。

答 きめ細かく足を運んで営業をしていきたい。

パンフレットについては4月以降の分は療法士も加えた内容にする。

下水道事業 特別会計

問 下水道事業の予算は、約6億円の事業費になつていくが、アクションプランの収支計画では約5億円になっており、約1億円オーバーしている。これでアクションプランの計画と整合性がとれるのか。

答 予算上は国の予算要求関係の都合で予算を計上している。しかし極めて厳しい財政状況のため、整備規模は現在の規模を維持しながら実施していく。

問 今回下水道も含めて、「公共施設等総合管理計画」を作ることになつていく。桜が丘東浄水場の維持更新に10億円必要と答弁があった。今回の27年から36年まで10年間の下水道整備計画にこの維持更新費用は入っているのか。市の中長期

財政見通しによると建設工事費は4億円になつていく。今回の下水道整備計画は維持更新費も含めて4億円なのか。

答 基本的な考え方は既存の施設は保守、維持管理、修繕など施設の延命を実施する。向こう10年間の事業計画には、施設の大規模な改修計画は入っていない。

問 「公共施設等総合管理計画」は1年後に明らかになる。それによって整備計画を修正する必要が出てくるのではないか。

答 大規模な改修経費が必要になれば、面的な工事部分を削って実施計画を変更せざるを得ない。

次のとおり同意・適任とした。



監査委員

藤原 光利 (長尾)

【任期】

平成27年4月1日～
平成31年3月31日

教育委員会委員

日名 智子 (下市)

【任期】

平成27年5月20日～
平成31年5月19日

人権擁護委員

鳥羽 俊郎 (和田)

山本 亮裕 (戸津野)

内田 恵子 (沢原)

井上 和也 (黒本)

【任期】

平成27年7月1日～
平成30年6月30日

反対討論

議第13号 介護保険条例の一部を改正する条例

介護保険料の基準額がこれまで月額4850円であったものが、改正により5800円になるが、この引き上げは高すぎる。国がもう少し国庫負担を増やせば国民の介護保険料は安く、そして払いやすい料金になる。よって反対する。

議第35号 平成27年度一般会計予算 (2人)

・当初予算は生活を応援する予算でなくてはならないが、下水道料金の値上げ、介護保険料の大幅値上げ、特定疾患医療費給付の減額の予算であり、市民負担の軽減が求められているのに、反対に負担の増大となっているので反対する。
(10周年記念事業)

・行政というのは予算の執行に対しては全体計画が出て、そしてその費用対効果と見通しが出て、という手順を踏むべきだ。ところが、この映画製作については実行委員会が半年もできていない。その中で1043万6000円の映画関連費を議会が認めることは、公金支出の監視を放棄する結果になるので反対する。

(オールあかいわ宣伝隊事業)
・公金の支出についてはきちんとした見通しや計画が立ったものでなければいけないというのが議会の鉄則だ。民間と行政のやるべきことの線引きも必要である。2カ年の事業予算としてはとても議会として見過ごすことはできないため反対する。

議第36号 平成27年度国民健康保険特別会計予算

国保税は引き下げをすべきである。さらに、広域

化への準備予算が出ている。広域化になれば市町村の負担が軽くなると期待していたが、反対に負担は大きくなり、県からの締めつけが厳しくなり、さらに国保税の値上げも予想されるので反対する。

議第41号 平成27年度下水道事業特別会計予算

アクションプランにより、約4000万円の市民負担の予算となっている。もつと研究し、生活が厳しい折だからこそ負担の軽減をする努力が必要と思うので反対する。

賛成討論

議第35号 平成27年度一般会計予算

本年度は昨年同様の予算で、特に行政事務連絡委託費関係に関しては昨年同様の内容になっているが、市長から力強い改革、改善の答弁があったので、市にとって一番いい形をとってもらおう検討期間として、期待を込めて賛成する。

議第36号 平成27年度国民健康保険特別会計予算

コスト意識に目覚めて、診療所長をはじめ病院スタッフ一丸となつてこの6500万円の予算削減に努めていこうとする姿勢は大いに評価するので賛成する。

請願

請願第1号 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願 **【採択】**

発議

発議第1号 年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める意見書 **【可決】**

【要旨】 年金の引き下げは受給者の生活に大きな打撃を与え、同時に生存権を脅かし、地域経済と地方財政にも大きな影響を与えるため、年金削減の取りやめ、「マクロ経済スライド」の廃止、全額国庫負担の「最低保障年金」の実現、年金支給の毎月払いを求める。

【反対討論】

予算の確保の問題とか、税と社会保障の一体改革の中で、年金制度の改革などの結果が出ていない。また、市民にも世代間格差に理解を示してもらっていると思うし、年金受給者も自分たちがちよつと我慢すれば若者が元気になると考えていると思うので反対する。

【賛成討論】

国民は国民年金であれ厚生年金であれ苦勞しながら納めてきた。国は制度を充実させて安心した老後を送れるようにと言ってきたが現実とは違っている。この請願を国に届けて国会議員に庶民のことを分かってほしいので賛成する。

【意見書提出先】 内閣総理大臣、厚生労働大臣

発議第2号 議会委員会条例の一部改正について **【可決】**

【要旨】

議会委員会条例の第21条中「教育委員会の委員長」を「教育委員会の教育長」に、「法令又は条例に基づく」を「法令に基づく」に改める。

平成27年3月第1回赤磐市議会定例会審議結果

議案番号	案 件	議決結果	佐々木雄司	光成良充	澤 健	保田 守	丸山 明	治徳義明	原田素代	金谷文則	行本恭庸	松田 勲	北川勝義	福木京子	佐藤武文	岡崎達義	下山哲司	実盛祥五	小田百合子	
議第13号	赤磐市介護保険条例の一部を改正する条例（赤磐市条例第12号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
議第35号	平成27年度赤磐市一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第36号	平成27年度赤磐市国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第38号	平成27年度赤磐市介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第41号	平成27年度赤磐市下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願第1号	年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める請願	採択	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第1号	年金削減の取りやめと最低保障年金制度の実現を求める意見書	可決	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○ = 賛成 ● = 不賛成

※小田百合子議長は地方自治法第116条第2項の規定により議決に加わるできません。

※賛否の分かれた議案のみ掲載しています。

総務文教 常任委員会

3月13日に総務文教常任委員会を行った。
議案10件について審査した。

過疎地域自立促進 進市町村計画の 変更について

問 消防団の青年層の入団を促し団員の確保に努めるとあるが、吉井地域は過疎率が一番高いところである。青年層のところの見直しをかけるべきでは。

答 今回は新しく過疎債を使う事業のところだけを変更する。過疎計画自体が22年度から27年度までの計画で、期間満了後

に新たな過疎計画の見直しをかける。団員になりえる条件に勤務地などというもあり、青年層にも団員の確保を広げていく。

市職員の給与 に関する条例 の一部改正

問 財政健全化アクションプランに基づいて市民負担が増える中、職員給与が人事院勧告に基づくだけでいいのか。アクションプランの中に職員の給与を見直す独自の取

答 総務部の電子計算機保守委託料の執行残367万円、システム保守等委託料の657万7000円の詳しい説明を。

26年度 一般会計 補正予算

答 今後人事院勧告の方針に従って進めていく。職員数は削減計画を策定して削減に努めていきたい。

問 パソコンは、古いパソコンの買い替え等を含めてウインドウズ7にする方向であったが、機械の性能の関係でアップグレードが不能の物があり、歳出抑制の観点からライセンス保有のビスタに入れ替えたため安くなった。

27年度 一般会計予算

問 10周年記念事業映画で製作実行委員会を作るのが延びているが、できる前に関連予算を通すことについて見解を聞きたい。

答 製作実行委員会ができれば映画の全国へのPRや協賛をもらうことはできない。

問 製作実行委員会ができないと映画は止まるのか。

答 映画が中止されるということはない。定期的に3月中に立ち上げが可能という見込みである。

する必要がある。明確に何をしようかを加えて支出すれば良いと思うがどう考えるか。

答 市民からも委託費が不透明であると指摘がある。市としても業務の透明性を確保する必要があると認識している。

問 住民の協働という形で運営費を市から交付するといった透明性の高いものに変換していかないと、4地域の区長会の会議でも説明し賛同を得られた。

問 メタセコイヤの伐採について関係者と話し合いができていいのか。気持の確認はできているのか。

答 関係者等への確認作業はできていない。周辺の安全性等を考えて基本的に伐採をしたいと考えている。

問 一時預かり保育の詳細説明を。

答 保護者の子育て支援の一環として一時的に家庭保育が困難な場合に保



防犯カメラ

護者の要請に応じ27年4月から試行的に山陽西幼稚園、いわなし幼稚園において一時預かり保育を実施する。

問 小中学校の防犯カメラが予算に上がっているが、36台つけたら全小中学校・幼稚園につくのか。

答 26年12月補正予算で各小中学校17校の校門付近に設置できた。27年度当初予算では、小学校の校門付近の通路や地域の通学路で特に危険なところについて学



メタセコイヤ

厚生 常任委員会

3月11日に厚生常任委員会を行った。
議案20件、請願1件について審査した。

条例改正

学童保育所条例

問 この条例には、城南ふれあいクラブと仁美ふれあいクラブしかないが、他のクラブは該当しないのか。

答 今回のこの条例改正は、すでに市が設置している公立のクラブに関してのみ該当する条例改正である。そのほかのクラブは別の条例で定めている。

介護保険条例

問 低所得者に対する保険料は妥当なものか。

答 生活状態は家庭によりさまざまであり、真摯に個々の相談を受けていきたい。

26年度

一般会計 補正予算

障害者福祉費

問 自立支援給付費増額補正の目的は。

答 施設入所、ホームヘルパー派遣、通所サービスが伸びたためである。

27年度予算

一般会計

社会福祉総務費

問 臨時福祉給付金の予算額6000万円について、算定根拠の説明を。

答 予算額は、支給する人数が変動する可能性があるため、支給がないように余裕をもって計上

児童福祉総務費

問 要保護児童台帳管理システム導入について、内容説明を。

答 市民からの児童虐待等の通告や相談が増加傾向にあるため、関係機関の組織全体で情報を共有化することで問題解決に活用できるものである。

問 関係機関はどのように子供たちをサポートするのか。

保健衛生総務費

答 要保護児童対策地域協議会を設置しており、情報を共有し、具体的に解決に当たる。

問 24時間電話健康・医療相談業務についての説明を。

答 病気や医療不安を解消するため、24時間365日で医師や看護師、保健師による電話相談サービスが利用できる。

問 ICTを活用した健康づくり事業は、希望した住民全部を対象にできるのか。

答 公民館単位で募集する。3地区を選んで取り組み、今後は徐々に広げていきたい。



ICT事業



リサイクルプラザ

清掃総務費

問 リサイクルプラザの今後の計画について説明を。

答 現在は月曜日、木曜日、金曜日にプラザの運営を行っている。4月から本格開始だが、5月から第2、第4土曜日も開けるように計画している。

介護保険 特別会計

問 介護予防事業「お達者塾」の内容説明を。

答 今年度は二次予防対象者の運動機能と口腔機能等の向上を目的とし、8会場で開催し、参加者は4月から1月までで二次予防対象者が852人、一般が549人であった。

国民健康保険 特別会計

問 熊山診療所で訪問診療するには、医師がいなければできないが、医師

の確保についてはどのようになっているのか。
答 すぐに見つかる状況ではないが、新年度には現在の医師に勤務日数を増やしてもらい対応していきたい。引き続き常勤医師の確保に努めていきたい。

産業建設 常任委員会

3月12日に産業建設常任委員会を行った。
議案19件について審査した。

西勢実ふる里 産品加工所条 例の廃止

問 集会所として地元移譲することだが、耐用年数が平成25年3月となっているが。

答 まだ十分に使えるという判断で地元と調整している。

公園条例の 一部改正

問 他にも多くの公園があるが、維持管理費がかかるというので、随時地元移譲していく計画なのか。

答 今回、東軽部読書公園、多賀読書公園は市の所有地ではなく、民地を借りて借上料を払っていたが、期限が経ったので

廃止する。

26年度 一般会計 補正予算

問 花火大会の中止にかかった実際の費用300万円の詳細説明を。

答 会場の草刈りやステージ設営等の整備、バス契約の解約金、花火業者への最低限の支払い等

27年度予算 一般会計

問 花火大会の協賛金は、業に、来年度へ繰り越すことで合意をもらっている。

一般会計

問 市結婚推進協議会助成金が前年と同じ60万円

である。積極的に事業を推進するのではなかったのか。

答 結婚推進イベントは、市制施行10周年の記念イベントの中でも企画しているが、詳細が決まれば議会に諮っていく。



読書公園（多賀）

問 ハザードマップ作成委託料について詳細説明を。

答 ため池のハザードマップである。本年度は、19カ所のため池のハザードマップを作成したが、来年度も2カ所予定している。

問 オールあかいわ宣伝隊の事業目的は。

答 関西、首都圏で赤磐市をPRして、市の特色

や特産品を認知してもらうことにより、定住促進、企業誘致、物産等の販売促進を推進する。

問 鳥獣被害が深刻な中、27年度の新しい取り組みは。

答 事業要望が多い防護柵設置の補助は増額する。また、捕獲や防護柵の設置指導等を行う鳥獣被害対策実施隊を設置する。また、高齢化等で減少傾向にある狩猟者の確保のために新規の狩猟免許取得者に対する支援をする。

問 イノシシ等防護柵の設置はどの程度計画しているのか。

答 約61kmである。

問 農業後継者育成補助金は新規事業で、青年就農給付金の対象外となる親元就農に対しての支援とのことだが、条件は。

答 年間の所得制限はあるが、水稲、果樹、野菜等の就農5年以内の45歳までの就農者である。

下水道事業 特別会計

問 地方交付税が減額され、人口減少が予想される中、現在のインフラの維持更新費用が膨大になること等を考慮して下水道計画を策定すべきでは。

答 中長期財政見通しを踏まえて適正な整備計画で実施している。大規模な修繕箇所が発生した場合は、年間の整備実施金額から差し引いた金額で面的な整備を実施する。

竜天オートキャン プ場特別会計

問 繰入金金が100万円から50万円に減額されているが、今回だけなのか。

答 県下の近隣施設の利用料金等を勘案して料金改定をしたためであるが、長期的には、大規模修繕が発生するようなことがあれば繰入金が増えることがある。

問 料金値上げの影響は。

答 今回の改定は、ある程度理解してもらっていると考えられる。利用者喜んでもらえる適正な運営を行っている。



ため池ハザードマップ

一般質問

市の考えを問う

12人の議員が登壇し市の考えをたどりました。

一般質問のページは質問した議員本人の原稿に基づいています。



問

「種まく旅人3」の
進捗状況は

答

製作協力委員会を設立し
準備を進めている



北川勝義議員

問 前回到質問した実効性について①福田住宅集会所整備②「種まく旅人3」の進捗状況③直売所(道の駅)④絵画の展示についてどうなったか。

答 ①管理体制組織の充実に努力する②2月26日に製作協力委員会を立ち上げ、エキストラやボランティアなど映画製作に側面から協力してもらう。また、製作実行委員会の設立に向け関係機関に協力要請している③事例等情報収集に努め特色を考えていく④熊山、佐伯北診療所、公民館など市内公共施設へ20点展示した。

問 桜が丘ショッピングセンターの現状および今後はどうなるのか。

答 権利者等の意向など聞きながら引き続き慎重に進めていく。

問 地方創生事業をどのように進めるのか。

答 地域経済活性化の観点から「プレミアム付商品券の発行」を検討中。また地方版「まち・ひと・しごと総合戦略」の策定を進め補正予算にて対応する予定である。

問 医療体制について、医薬分業すべきと考えるがどうか。また、吉井地域に高機能の医療機器を備えた診療所の整備が必要と思うがどうか。

答 院外薬局の場合、診療所で診療を受けた後、敷地外に設置された薬局利用となり、現状での運営でお願いしたい。診療所の移転整備等は慎重に検討すべき

問 産官学連携協力事業の現状と今後の方向性をどう考えるか。

答 本事業が学力向上に大いに効果が期待できると実感している。今後は最終的な効果検証の結果を踏まえ検討する。

問 第2次赤磐市総合計画は進んでいるか。

答 第2次総合計画と、地方創生総合戦略と合わせた策定とする必要から27年度中に策定する。



種まく旅人(3)のPR写真

表紙のひとこと 桃の授粉作業 (山陽鴨前地区)

ボンテンと呼ばれるボンボンの付いた棒の先に花粉をつけ、それをひとつひとつの花に受粉しているところです。この地域は「かおり風景100選」に選ばれており、一面に桃畑が広がっています。果実のなる季節もまた楽しみです。私たちにやすらぎや元気を与えてくれるすばらしい景色を未来へ残していきたいです。

問 合併して10年 市民の満足度が低いのでは

答 総合計画をしっかりと立て 市政の運営に当たった



金谷文則議員

心と2つの健やかを念頭に市政を推進していきたい。

問 統合保育園建設に反対するものではないが、行政改革をし無駄を省いていくことを打ちだしているにもかかわらず、跡地をどのように利用していくかはつきりさせないまま新しい土地を購入し建設していくことは納得いかない。無駄遣いにもなっているのではないかと思うので、場所の選定の経緯等を説明してほしい。

答 10年の間、選挙のたびに市長は代わった。市民からは市政に不満があるからこのような結果になったと思う。ころころ市長が代わることは市民にとつて大変不幸なことであり、市の職員にとつても大変やりにくいことだと思う。そのことを踏まえ市はどのように考えているのか。

答 市民との対話をしっかり行い、笑顔のあふれる町にするため3つの安

答 また、地域の人も新しい保育園が建つことを楽しみにしている。長く地域に根ざすものなのできちんとしたものを作ってもらうたい。



広島県世羅町の大規模トマト温室で働く人たち

づくりの拠点としての利用を目指すという方針を踏まえ、来年度策定される公共施設等総合管理計画の中で検討する。園舎の設計については、地域の特性を活かせる創意工夫を凝らし、プロポーザルやコンペ方式も考える。

問 産業振興の農業の中で、お米を作ることも大切だが赤磐市は土地も広く交通の利便性も良い。そして農業試験場などもある。市主導で大規模農業施設をやつてはどうか。

答 赤磐の気候風土を考えると向いていると思う。国も支援の方針なので、調査研究、勉強しながら取り組みを強めたことと考えている。

問 年末年始の ごみ収集日の再検討を

答 可燃ごみ収集日の 変更と周知をしていく



松田 勲議員

のごみ収集所の対応等早急に見直すべきではないか。

答 自宅でのごみの保有期間を少なくするため、今年末の28・29日に市内全域の可燃ごみ収集を行うことで、持ち込み車両の削減を図る。

また、最終収集日については、ごみカレンダーの再認識を、リサイクル推進員会議を通じて町内会等へ周知を図ったり、広報あかいわやホームページなどで周知したりしていく。

問 今回の年末年始のごみ収集の取り扱いは、年末の最終収集日が早い上、年始が遅く、ごみを10日間各家庭に保管しなくてはならなかった。持ち込みは29日に集中して、朝から周辺は大渋滞。また、収集日は過ぎていくのに、町内のごみステーションに持ち込まれるごみ袋の山。

年末年始のごみの収集、持ち込みも含めた日程の再検討、各区町内会

問 山陽インターバス停には、両備高速バス、下電高速バス、中国JRバス等が乗り入れをしている。民間のバス会社との連携も視野に入れながら利用率を高め、さらに利便性を高めていくことを積極的に進めてはどうか。

市長率先で、民間との話し合いや調査をしていくべきではないか。



山陽インター高速バス停

答 交通網の優位性、移動の利便性、あらゆる機会を通じて積極的にアピールをし、企業の誘致や定住人口の増加に結びつけていきたい。

第2次総合計画についても、交通結節点としての機能強化あるいは高速交通網、広域交通網などの利活用を念頭に組み込んでいく。

民間のバス会社としてしっかりと連携し、そのために協議のテーブルを準備していく。

問 市職員に業務改善運動の導入を

答 主体的に動ける職員になるため導入を検討する



澤 健議員

は大事。業務改善運動の導入を検討していく。

問 障がい児の早期支援の体制づくり(意見書の件)

問 発達障がい児が療育を受けるには、専門家の療育が必要という意見書が要る。本市では、旭川荘など数少ない児童精神科医の意見書のみ提出のため、意見書をもらうのに7カ月程度待たねばならず、早期療育が受けられない。発達障がいのNPO代表と私で本市の小児科医の代表に意見書を書くことを依頼したら、快く了解された。市内すべての小児科医に意見書書いてもらうように市から医師会に依頼書を書いてほしい。

問 現在の市職員提案制度では本年度1件しか提案がない。現在の自分の職場の改善提案を行い、それを報告する業務改善運動を導入し、すべての職員が提案を行う仕組みにしてほしい。本運動により、意識改革ができ、職員が主体的に行動できるようにしてほしい。

答 職員が気軽に業務改善提案を行い、モチベーションアップする仕組み



燃やされた東5丁目公園のテーブル

問 臨床心理士が意見書を書く検討もしてほしい。

答 桜が丘東5丁目公園と集会所に防犯カメラ設置を

問 桜が丘東5丁目公園は交流センターに隣接し、利用者が非常に多い。公園内のテーブルが2度燃やされる等、公園と集会所はいたずらされて町内会の管理を超えている。市で防犯カメラを設置してほしい。

答 利用者が多いのは承知しているが、市で設置は難しい。今後、窓口を都市計画課一本にし、継続協議していきたい。

問 行政事務連絡委託費の見直しはどのようにするのか

答 見直しにはすでに着手している



佐々木雄司議員

り、更には行政事務の連絡委託内容とはどういう形が良いのか研究を始めるところである。部分的になっても来年度には改善の形を示したい。

問 財政が厳しいと言いつつながら市役所職員の給与を昨年末に上げたが、市民生活を置き去りにしているのではないか。

答 給与を上げるに至った状況判断と市民生活の状況判断が沿っていないのではないかと指摘だが、国の人事院勧告に基づいてのことであり、間違いだと思っていない。

問 市民負担を求める行政改革のさなか、無駄な事業の見直しは当然行わなければならないが、行政事務連絡委託費についてどうするつもりなのか。

問 人事院の勧告は全国平均を鑑みてのことであり、赤磐市の



予算書と決算書

答 平均年収についての議論については明確な答えはないが、赤磐市民4万5000人の平均給与所得が249万円と厳しい状況ということはないのではないか。全国平均を採る人事院勧告制度を判断基準にしていきたいと考えている。理解を求めます。

松竹映画のチラシに市費は使わない約束だが

チラシ・ポスターは市費で作成した



原田素代議員

そういう見方はあるのかと思うが、企業誘致の際にチラシを使って市の宣伝に有利な機会となっている。チラシ3000枚、ポスター1000枚で企画費から4万8600円支払った。

問 12月議会で「民間映画の製作に市費は出すべきでない」と質すと「指摘のとおりで同感だ」「踏み出すことのないようやらせていただく」と答弁された。

しかし、チラシは映画のパート1・2の宣伝と、本市がパート3になるといふ、映画のための宣伝チラシである。これでは誓約違反ではないか。
答 民間企業の宣伝ではないかという指摘だが、

問 パート2の淡路島では、民間の有志で「映画を淡路島の活性化に活かす会」を立ち



松竹映画のチラシ

問 高倉山は桜の名所であつたと思う。また桜が終わった頃には藤の花・ワラビ狩り、そして夏には旧山陽町では歩け歩け運動の目的地として市民の憩いの場として利用されてきた。しかしながら、桜の木ソメイヨシノの老木はすでに寿命がきている。今から10年ほど前からテング巣病が目立ち始

答 高倉山の桜、これは市民の財産だという事を冒頭に申しあげる。山頂の桜の木の管理だが、現在高倉山を訪れる人たちに心地よく散策してもらえらるようにならなければならない。老木の清掃などを行っている。老木化によって寿命を迎えているものも少なくないという状況である。今後地権者である西山殖林組合とも協議を行い、危険な樹木については、随時伐採等の対応をしていく。



高倉山の桜の木

高倉山の桜の管理について

地権者と協議して対応する



保田 守議員

め、今では大きな枝が折れかけ、非常に危険な状態になっている。早急な対策が必要ではないか。

答 高倉山の桜、これは市民の財産だという事を冒頭に申しあげる。山頂の桜の木の管理だが、現在高倉山を訪れる人たちに心地よく散策してもらえらるようにならなければならない。老木の清掃などを行っている。老木化によって寿命を迎えているものも少なくないという状況である。今後地権者である西山殖林組合とも協議を行い、危険な樹木については、随時伐採等の対応をしていく。

問 高齢者でゴミ出しに大変苦労している人がいる。その人たちのために回収システムを作るべきでは。現在の市の状況や考えを聞きたい。
答 ホームヘルパーによる家事支援サービスやシルバー人材センターの暮らしサポート事業を受けることができる。既存のサービスを利用してもらいたいと考えている。
今後、ふれあい収集サービスについても他市の状況等を調査研究していきたいと考えている。

問 アダプトを例に まちづくりとは何かを問う

答 アダプト事業に対して 一般論で答える



丸山 明議員

問 赤磐市では里山づくりのアダプト事業で、公務執行妨害罪に問われることがあるのか。

答 一般論で答えるが、今後も市民と行政がより

問 赤磐市では里山づくりのアダプト事業で、公務執行妨害罪に問われることがあるのか。

答 一般論で答えるが、今後も市民と行政がより

問 今後職員と市民とのコミュニケーションの徹底をお願いしたい。

答 再三、職員は市民の目線に立って、現場をよく見て判断をしていくことが一番大切だと職員に言っている。

問 公的な診療所のあり方について尋ねる

問 最少の経費で最大の効果を求められる熊山診療所を今後どのように運営する



アダプト事業

問 今後職員と市民とのコミュニケーションの徹底をお願いしたい。

答 再三、職員は市民の目線に立って、現場をよく見て判断をしていくことが一番大切だと職員に言っている。

問 公的な診療所のあり方について尋ねる

問 最少の経費で最大の効果を求められる熊山診療所を今後どのように運営する

答 公立診療所は、地域医療の確保のため重要な役割を果たしている。熊山診療所の今後の運営と体制は、早期に常勤医師2人に増員し、医療サービスを充実させていく。

2人となることで訪問診療にも出かけやすくなり、在宅医療ニーズに添えていきたい。検査部門では、人間ドックや職場健診を積極的に行い、他の医療機関からの検査ニーズにも応じる。経営の効率化を図る面から、人員の適正な配置や後発医薬品の積極的な導入を行う。

問 プレミアム付商品券の発行は

答 地域経済活性化を目的に 多角的な検討をする



治徳義明議員

問 少子高齢化、人口減少時代突入、東京一極集中の深刻な問題を背景に地方は益々厳しい状況になることが予想される中、地方創生戦略が本格的に動き出し、政策を具体化する段階に入った。

① 地方版総合戦略の作成
② 地方創生人材支援制度の活用は
③ プレミアム付商品券は、独自の企画・アイデアを出して取り組むべきでは。

答 ① 来年度前半を目指して取り組む
② 総合戦略

問 高齡化が進展する中、認知症対策は最重要課題である。① 今後の取り組みは
② 高齢者徘徊事業の取り組みは
③ 高齢者虐待防止対策は
④ 市民後見人等のサポートのための権利擁護センターの設置は。

答 ① 認知症サポーター（現在、1400人）を

問 少子高齢化、人口減少時代突入、東京一極集中の深刻な問題を背景に地方は益々厳しい状況になることが予想される中、地方創生戦略が本格的に動き出し、政策を具体化する段階に入った。

① 地方版総合戦略の作成
② 地方創生人材支援制度の活用は
③ プレミアム付商品券は、独自の企画・アイデアを出して取り組むべきでは。

答 ① 来年度前半を目指して取り組む
② 総合戦略

問 高齡化が進展する中、認知症対策は最重要課題である。① 今後の取り組みは
② 高齢者徘徊事業の取り組みは
③ 高齢者虐待防止対策は
④ 市民後見人等のサポートのための権利擁護センターの設置は。

答 ① 認知症サポーター（現在、1400人）を

〔投票用紙に投票される方は記入不要です。〕

～期日前投票について～

【期日】4月4日(土)から4月11日(土)まで

【時間】午前8時30分から午後8時まで

【場所】赤磐市役所（市内全域の人）、赤磐支所（赤磐地域の人）、熊山支所（熊山地域の人）、赤磐支所（赤磐地域の人）

期日前投票をご希望の場合、下記の宣誓書の内容を記載し、期日前投票所へお持ちください。

【期日前投票宣誓書】 平成27年4月 日

私は、選挙の日、次の事項に欺偽する見込みであり、真実に欺偽しないことを誓います。

第1号	1. 選挙、選挙、選挙の投票
第2号	本人又は家族の候補者、その他（投票区域内）外出、旅行、滞在
第3号	候補、費用、出立、身分障害等のため不行動
第4号	在籍移動のため、海外に滞在

氏名

生年月日 年 月 日

住所

赤磐市選挙区長選挙期日前投票所

宣誓書付投票所入場券

問 有権者の利便性向上のため、投票所入場券の裏面に期日前投票の宣誓書を印刷して、事前に自宅で宣誓書に記入できるように改善すべきと、一昨年（一般質問）提案をしたが。

答 宣誓書を裏面に印刷する様式に変更する。期日前投票制度の利用は増加傾向にあり、混雑緩和の効果を期待する。

問 宣誓書付投票入場券について

答 有権者の利便性向上のため、投票所入場券の裏面に期日前投票の宣誓書を印刷して、事前に自宅で宣誓書に記入できるように改善すべきと、一昨年（一般質問）提案をしたが。

問 英国庭園の活性化について

答 活性化委員会と協働のまちづくりを推進する



実盛祥五議員

熊山英国庭園活性化委員会設立

問 熊山英国庭園は自然との共生と地域の人たちの心に潤いを与え心豊かなまちづくりを目的に、平成12年に小野田小学校、小野田幼稚園の跡地に整備された。西日本初の本格的な英国式庭園として開園した。

平成17年に赤磐4町が合併し、平成21年に突然、行財政改革審議会か

ら英国庭園の閉鎖が発表された。地元では、熊山地域にとって大切なものが他地域の住民には理解されず、また大切に育てた歴史ある熊山病院が合併してわずか5年で廃院となったように、熊山英国庭園も廃園になるかもしれないという危機感から、地元区長が中心となり熊山英国庭園活性化委員会を設立し、イベントなどを企画立案し、実施している。活性化委員会では、今後のあり方について前向きに検討している。地域に住む自分たちに何ができるかなどを考え、実践している。

英国庭園は地元にとっても市にとっても地域の宝



熊山英国庭園

問 「種まく旅人3」の映画製作実行委員会ができていないが、今後の計画はどうなっているのか、予算はどのくらい使うのか、市民が納得できる説明をすべきだ。

答 地元における製作協力委員会はすでに設立した。製作実行委員会は、早期設立に向け協議中である。この映画を通じて合併10周年を迎えた赤磐市を全国に紹介できるチャンスと考えている。



現在の県営住宅

問 映画製作では市民が納得できる説明を

答 製作実行委員会の早期設立に向け協議中



福木京子議員

問 山陽団地の活性化を

問 地域経済の活性化に住宅リフォーム助成制度の復活をすべきだ。岡山県内では継続している自治体が多い。

答 現時点ではこの制度の復活は考えていない。プレミアム付商品券で住宅リフォームにも利用できるよう視野に入れながら考えている。

問 指定管理は成果があったのか

答 豊富な知識により成果があった



佐藤武文議員

い。

砂川の防災対策は

問 砂川の改修は、前市長からの懸案事業であった。県が進める改修計画はどのようになっているのか。

答 長い間の悲願であったが、28年秋に工事着手すると県から聞いています。1日も早く完成すべく最大限の努力をする。

反省はないのか

問 下水道事業の整備計画が、なぜ説明責任が果たせないのか。

答 反省しながら周知を図っていく。

問 合併10年が経過し、市民の期待に応える「まちづくり」は完成したのか、満足度は50%程度ではないか。

答 取り組んできた成果と反省を踏まえ、今後とも夢と希望をもち市政を推進していく。

問 赤磐市の特徴といえば何があるのか、○○のまち赤磐、○○に何が入るのか。

答 提案を肝に銘じ、まちづくりに励んでいきたい。

有効に活用されているか

問 ふれあい公園を指定管理した事は、効果と成果があったのか。

答 民間事業者の豊富な知識、柔軟な発想の活用により成果はあった。

問 いろいろな夢話も聞いていたが、全く実現されていないではないか。

答 にぎやかな大きな声がこだまする、ふれあい公園を目指していく。



山陽ふれあい公園

議会を傍聴しませんか!!

本会議、各委員会は一般に公開され、どなたでも自由に傍聴することができます。市政の動きや議員活動を知るためにもぜひ傍聴してください（本会議：定員30人、各委員会：定員10人）（※ルールを守った傍聴をお願いします）。

また、休会中の委員会の日程については、赤磐市議会のホームページに記載しております。

本会議については、インターネット上で配信を行っております。また、市役所本庁舎1階市民コーナーにもモニターを設置してありますので、どうぞお気軽にご覧ください。



議会配信の様子



車イス用の通路（本会議場）

ご自宅のパソコン等を使ってインターネットによる本会議配信をご覧になれます。

アドレス：<http://www.city.akaiwa.lg.jp/gikai/gikai-live.html>

ぜひご利用ください。

委員会構成が変わりました

4月24日、27日に行われた臨時会で、議長、副議長の選挙があり、議長に金谷文則議員、副議長に岡崎達義議員が選出されました。また、常任委員会や特別委員会、一部事務組合議会議員の構成が変更されました。

総務文教常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	北川 勝義
副委員長	佐々木雄司
委員	実盛 祥五
”	下山 哲司
”	松田 勲
”	光成 良充

厚生常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	原田 素代
副委員長	福木 京子
委員	小田百合子
”	岡崎 達義
”	丸山 明

産業建設常任委員会

役職名	議員氏名
委員長	治徳 義明
副委員長	保田 守
委員	金谷 文則
”	佐藤 武文
”	行本 恭庸
”	澤 健

議会運営委員会

役職名	議員氏名
委員長	下山 哲司
副委員長	福木 京子
委員	岡崎 達義
”	北川 勝義
”	原田 素代
”	治徳 義明
”	保田 守

議会基本条例特別委員会

役職名	議員氏名
委員長	岡崎 達義
副委員長	治徳 義明
委員	実盛 祥五
”	福木 京子
”	原田 素代
”	澤 健
”	佐々木雄司

議会広報編集特別委員会

役職名	議員氏名
委員長	澤 健
副委員長	光成 良充
委員	岡崎 達義
”	北川 勝義
”	原田 素代
”	丸山 明
”	保田 守

一部事務組合議会議員

組合名	議員氏名
和気・赤磐し尿処理施設一部事務組合	金谷 文則、小田百合子、松田 勲、治徳 義明
和気北部衛生施設組合	実盛 祥五、小田百合子、北川 勝義
和気老人ホーム組合	丸山 明、澤 健
東備農業共済事務組合	北川 勝義、治徳 義明、光成 良充、佐々木雄司
柵原、吉井、英田火葬場施設組合	実盛 祥五、下山 哲司、佐藤 武文
柵原吉井特別養護老人ホーム組合	下山 哲司、福木 京子、丸山 明、保田 守

第2回 議会報告会を 開催しました

平成24年12月に制定された赤磐市議会基本条例に基づき、2回目の議会報告会を3月に市内5カ所で開催しました。

報告会には合わせて51人のご参加をいただき、日頃の議会活動の状況を知っていただくとともに、さまざまなお意見やご提言をいただくこともできました。いただいたご意見等は今後の議会活動の参考とさせていただきます。また、まとめたものをアンケート結果とともにホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

ご出席いただいた市民の皆さまには、大変ありがとうございました。

皆さまからいただいた
主なご意見（抜粋）

◎中央公民館（9人）



- ・新規就農者育成支援事業で若い人への支援もいいが、シルバー人材センターなどで気軽に参加でき、やりたい人を集めて集団として技術の伝承をしていくようにできないか。

- ・放課後児童育成事業で、学校施設を使用できないか。地域住民が自由に使用できるように地元

の公共施設である学校を変えていかなければと思う。

- ・健全育成の場として、学校施設は重要なものと考えるので国の制度に乗っかるのではなく、市から発信して変えていく。地域社会で教育力を上げていくためにも地方で行えるように変えていってほしい。

- ・財政健全化では市役所職員の給料を減らすのではなく、代替を退職した住民等を雇用して住民参加で人件費を減らしていいのではどうか。

- ・関西から来たが、向こうでは町内の役員をしても手当などなかったが、赤磐市に来て役員をしたら1万2000円手当をもらった。赤磐市は行政事務連絡委託手数料が多いが、赤磐市は裕福なのか。多すぎるのではないか。

◎桜が丘いきいき交流センター（17人）



- ・映画製作の費用はどうなっているのか。製作に当たって地元へ宿泊や食事等お金が落ちるのか。3月議会まで出ている1000万円はどういう使い方をするのか。

- ・映画のPRポイントは絞られているのか。インパクトの強いコンセプトが必要だ。それを市民全員で考えるべきだ。コンセプトを絞れないまま進めると、映

画のメリットがあると思えない。

- ・学習支援をベネッセと岡大に決定した経緯は。

- ・下水道料金の値上げについて、合理化の結果職員を半分に減らしているが事業に支障はないのか。他に比べて安いので企業誘致に有利というが、企業が来ない他の障害については解決できているのか。

- ・赤坂子ども園建設のため池利用のリスクは。桜が丘でも子ども園の需要はあるのではないか。

- ・24時間、365日の電話による健康相談は、効果があるのか。

◎赤坂健康管理センター（5人）

- ①赤坂エリアの認定こども園（保育園統合）について（多くの時間がこの問題にさかれました）



- ・「地元と共に協議・調整を行った」との説明だが、反対者は今も多い。地元の意見をもっと聞くべきである。意見の集約ができないまま推進したのではないか。

- ・認定こども園は、既にできている他地域でも問題が多いと聞いている。

- ・保育園定数が減少している。問題はないのか。

- ②映画「種まく旅人3」について

- ・地方創生の一環で、映画「種まく旅人3」を製作するのかが。

- ・よい機会なので、赤磐市を全国にPRしてほしい。

- ③議会報告会について
 - ・市民の意見を聞くことに主眼をおいたものにするべきである。

◎くまやまふれあいセンター（11人）



- ・地域包括支援センターの職員は、市民サービスについて十分に内容

- を教えてほしい。非課税世帯への減額、免除などの制度をしっかりと教えて欲しい。サービス、制度を知らずに利用できなかった事がないようにしてほしい。

- ・24時間電話健康医療相談事業について、経験豊富な専門家とはだけか。

- ・担い手育成で、認定農業者になれば有利な事があるが、年間農業所得が赤磐市は500万円が基準だが、和気町は400万円、新見市は350万円である。所得目標金額を下げてもらえないか。

- ・市民の健康を守る診療所の予算は十分使ってもらいたい。

- ・熊山工業団地の下水道料金に、企業によって違いがあるのはなぜか。把握しているのか。

- ・吉井川の水質が心配で

- ある。下水処理水が放流され、泡立っているが大丈夫なのか。

- ・防災無線が聞こえない。桜が丘東地区は各戸に受信機があったのに、外での放送方式になり、窓を閉めると聞こえない。元に戻すか改善が必要ではないか。

◎吉井支所（9人）



- ・下水道料金が上がるのはしょうがないが、接続できていない人がいる。皆で負担すること大切。もっと接続を

- 頑張ってもらいたい。

- ・マイナンバー制度はセキュリティは大丈夫か。

- ・イノシシなどの柵で補助金が1/4から1/3になるがどんな施策か。

- ・狩猟免許を持つと1年間に1万6000円の免許負担金が必要。これに補助はでないのか。

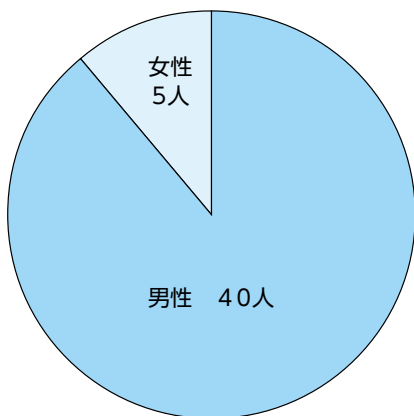
- ・在宅介護の言葉はいいが、高齢化が進んでいるので、実際はできない。要支援1・2が介護保険から外されるのが心配。

- ・周匝は液状化地盤。防災をしっかりと欲しい。

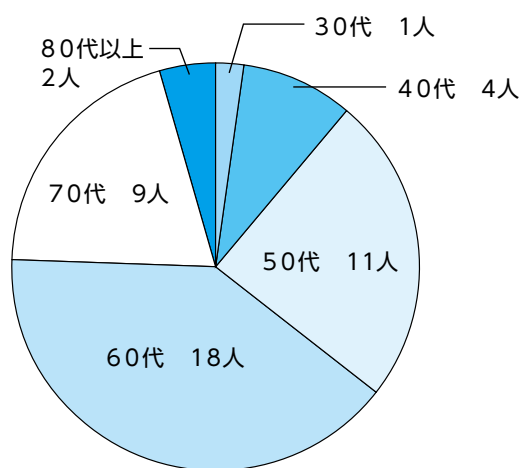
- ・年間300万円程度の収入が多い中で和気高校に通うと交通費が月に1万9000円、瀬戸高校だと月に2万1000円かかる。高校通学費も厳しい。

アンケート結果（抜粋）

問 性別は？



問 年齢は？



○参加人数 51人
○回答人数 45人
○回答率 88%

議長あらさつ



議長

金谷 文則

4月の臨時議会において議長に就任いたしました。

前小田百合子議長の後を引き継ぎ、重責を担っていきたいと思います。

赤磐市が誕生し10年目を迎え合併の成果が問われる節目の年に、赤磐市民を代表し選ばれた17名の議員のまとめ役として選ばれましたことに心より感謝申し上げます。期待に応えられる様しっかりと頑張っていきたいと思っております。

全国的に議員に対しての信頼性を欠く報道が多くなされております。まず議会人としての信頼を構築し、車の両輪に例えられる執行

部と議会の関係を基に議会の運営を行っていきたく思います。

議会改革への取り組みの一端として議会基本条例を制定し、市民へ開かれた議会とするため議会報告会も開催されるようになります。議員間での討議を活発に行い、より練り上げた意見を赤磐市のために、活かせる努力をしたいと思っております。

市民の皆様や先輩、同僚議員の助言や意見を参考に、公平で公正な議会となるよう誠心誠意働いていく所存です。

今後とも、赤磐市議会に対しご理解ご支援ご協力の程宜しくお願ひ申し上げます。

インターネットで本会議配信と本会議・委員会会議録がご覧になれます



【本会議配信を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議配信」と開いていく。

【本会議会議録を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「本会議会議録」と開いていく。

【委員会会議録を見る方法】

赤磐市のホームページを開き、「赤磐市議会」→「委員会会議録」と開いていく。

※インターネットでの本会議録画配信は、平成23年6月 第3回定例会以降のものとなります。

※インターネットで検索できる本会議会議録は、平成20年3月 第2回定例会以降のものとなります。

※インターネットで公開している委員会会議録は平成25年2月以降のものとなります。

※市内の図書館（中央、赤坂、熊山、吉井）においては今までどおり冊子の本会議会議録を閲覧できます。

6月定例会のお知らせ

次回6月定例会は、6月5日から6月30日まで26日間の会期で開催予定です。詳細な日程については5月下旬に決定し、ホームページに掲載しますのでご覧ください。

多くの皆さんの傍聴をお待ちしております。

編集後記

4年任期の半分を終え、この号で新しい編集委員とバトンタッチです。新人議員にとっては、議会だよりを編集することは、議会の復習をしていることと同じで大変勉強になりました。元々わかりにくい議会の内容ですが、できる限り市民のみなさんにわかりやすくするように努力をしました。次号から新しい編集委員になりますが、議会だよりをさらに読みやすくしたいと思っています。

議会広報編集特別委員

- 委員長 澤 健
- 副委員長 光成 良充
- 委員 岡崎 達義
- 委員 北川 勝義
- 委員 原田 素代
- 委員 丸山 明
- 委員 保田 守